

# マルチモーダル対話システムにおける 社会的信号処理とエージェント技術

Social Signal Processing and Agent Technologies in Multimodal Dialogue Systems

中野 有紀子<sup>1</sup>

Yukiko I. Nakano<sup>1</sup>

<sup>1</sup>成蹊大学理工学部情報科学科

<sup>1</sup>Dept. of Computer and Information Science, Seikei University

**Abstract:** Towards mimicking face-to-face communication, research on conversational humanoid has been progressing. Focusing on social signal processing, agent technologies, and dialogue system architectures, this tutorial will discuss the state-of-the-art technologies for conversational humanoid.

## チュートリアル概要

対面会話を模した人対機械のコミュニケーションを目指し、会話エージェントやコミュニケーションロボットの研究が数多く行われてきた。このような会話型ヒューマノイドでは、人の非言語行動（表情、視線、ジェスチャ等）の意味を理解する社会的信号処理の技術、人にとって意味のある非言語情報を生成するエージェント技術、さらには言語情報と非言語情報を統合する対話システムのためのアーキテクチャが必要である。本チュートリアルでは、これらの研究課題について内外の研究事例を紹介しながら解説する。

## 謝辞

本研究の一部は、科学技術振興機構(JST) 戦略的創造研究推進事業(CREST)「実践知能アプリケーション構築フレームワーク PRINTEPS の開発と社会実践」(JPMJCR14E3)、および理化学研究所革新知能統合研究センターの支援を受けたものである。